

幸子の  
議員活動

日誌 diary

2016年11月～2017年5月

東奔西走

皆さんからも市政に関して  
ご意見をください。



●LGBT 当事者支援と  
多様性を尊重したまちづくり 11/1

LGBT（性的マイノリティ）の方が新潟市で安心して暮らしていただけるためには、LGBT への偏見をなくす取り組みが必要です。その第一歩として「新潟 LGBT LOVE 1 Peace」のメンバーと市の職員の方と意見交換会を持ちました。



●新潟県女性議員の会で  
県知事米山隆一さんに要望書を提出 1/13

新潟県内の女性議員の有志で作る会で「H29 年度新潟県予算に関する要望」を行いました。女性の視点で医療、福祉、教育、防災など多岐にわたっています。新潟市と県、そして他市町村と連携して取組を進めていきます。



●「人口減少」対策、  
そのカギを握るママたちの話 1/25

新潟ならではの解決策を考えるなら、まずは当事者である親の話を聴きたいとドリームハウスにお邪魔しました。子どももママも新保さんをはじめとするスタッフの皆さんも自然体で暖かな雰囲気です。意見交換を重ねて施策に反映させていきます。



●原発事故から6年。  
自主避難者の住宅確保支援策の要請 3/14

福島から避難されている方々と「原発事故子ども・被災者支援法推進自治体議員連盟」の中山さんと新潟県に要請に行ってきました。避難者の大変な実情を受け止め、引き続き県も市も支援を継続するよう取り組みます。



●社福社会法人けやき福祉会  
準備会事務所が開所 4/10

地域の皆さんの思いが結集し、1年半をかけて準備してきたけやき福祉会が大きく動き出しました。地域の福祉の拠点となり、地域包括ケアシステムのモデルとなるようメンバーは取り組んでいます。



●社会的養護のもとで  
暮らす子どもの応援団 4/20

乳児園「はるかぜ」と児童養護施設「天使園」の視察に行ってきました。今回は所管課のこども政策課の課長、こども未来部の部長も同行し、現状と課題を共有し、今後の改善に向けて認識を同じくすることができました。



●CAP・いいがた講演会  
「いじめ問題の根っこを考える」  
元中学校長の工藤ひとしさん 4/29

新潟でもいじめ自殺や福島から避難してきた子どもに対するいじめが起っています。学校、家庭、震災、子どもたちの抱える背景は複雑ですが、子どもの命と人権が守られるよう力を注いでいきます。



●熊本視察報告  
慈恵病院「こうのどりのゆりかご」  
(赤ちゃんポスト) 視察 5/11

理事長の蓮田太二さんが「新生児の遺棄事件を傍観できない、幼い命を救うのが最優先」と10年前に開設されました。蓮田さんに直接お話を聞き、背景にある貧困問題・教育・医療・福祉の問題が見えてきます。

新潟市議会議員

いしづき幸子  
議会活動レポート

4

新潟市議会

市民ネットにいがた 市政報告

市民ネットにいがた 951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1（新潟市役所内）  
TEL.025-228-1000



一期4年の  
折り返し地点に立ち  
元気に3年目の  
スタートを切りました

contents

- ご挨拶 .....1P
- 2016年  
議会報告 12月定例会 ..... 2P
- 2017年  
議会報告 2月定例会/地域活動 .. 3P
- 幸子の議員活動日誌 .....4P  
(2016年11月～2017年5月)

新しい事務所に引っ越しました。  
いつでもお立ち寄りください。

議会や視察のない金曜日の午前または午後  
に「幸子生活なんでも相談会」を開催します。  
月、水、木の午後はスタッフがいますので  
いつでもお立ち寄りください。「喫茶けやき」の奥です。



議員3年生になりました。皆さんから寄せられるご意見や市政相談に心を寄せ、誰もが大切にされる平和な新潟市であることを願って活動してきました。

これまで会派で取り組んできた課題の中で、新年度前進が図られる主なものです。

- 子どもの貧困対策推進協議会の設置と貧困対策推進計画の策定
- 児童相談所における児童福祉司、心理司などの専門職の増員による体制強化
- ひまわりクラブの施設整備と支援員の処遇改善
- 地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療・介護連携の強化
- あらゆる分野での男女共同参画の実現の推進
- 教職員の県からの権限移譲に伴う少人数学級の拡大など、教育環境の整備
- 特別支援学校2校と明鏡高校への学校図書館司書の配置（すべての市立学校への司書配置が完了）
- LGBTに関する職員研修やまちづくりにおける環境整備

これからも皆さんと一緒に「一人ひとりが大切にされる社会」を目指していきます。

新潟市議会議員

いしづき 幸子

私の事務所に議員インターンシップ

新潟大学の2人の学生が2か月間、私の議員活動に同行しました。新事務所や会派控室などで様々な人との交流がありました。

無料  
法律 / 税理  
生活相談

市政に関するさまざまな相談にのっています。  
いしづき幸子事務所に気軽にご相談ください。

●市議会会派室（市民ネットにいがた）  
TEL025-228-1000  
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1

●事務所 〒950-2076 新潟市西区上新栄町 3-4-83  
TEL 025-201-8413 FAX 025-201-8423  
sachiko-ishizuki@grace.ocn.ne.jp

●自宅 TEL 025-269-1858 FAX 025-269-1858  
〒950-2076 新潟市 西区上新栄町 4-5-82

2016年  
議会報告  
12月定例会

一般質問  
通告

1. LGBT 当事者支援と多様性を尊重した新潟市のまちづくりについて
2. ひまわりクラブと放課後等デイサービス、および学校との連携
3. 知的障がいのある人の選挙権の保障について

一般質問全文はいしづき幸子 HP の「新潟市議会報告」をご覧ください。https://www.sachikoishizuki.net

1 LGBT 当事者支援と多様性を  
尊重した新潟市のまちづくりについて

社会には、LGBT(性的マイノリティ)に対する差別や偏見があり、当事者の方々は日常生活・社会生活に支障を抱えながら生きているため、差別解消の仕組みづくりが必要です。本市でも同性パートナーシップ制度創設に向けて当事者団体などと検討を進めるべきではないでしょうか。



この質問後、新潟市役所本庁の多目的トイレの表示に「だれでもトイレ」が加わりました。



市長答弁

多様性を認め、人権が大切にされ、誰もが住みやすいまちを目指し、当事者団体との意見交換、議論を継続する中で、まちづくり、パートナーシップ制度の在り方を研究していきます。

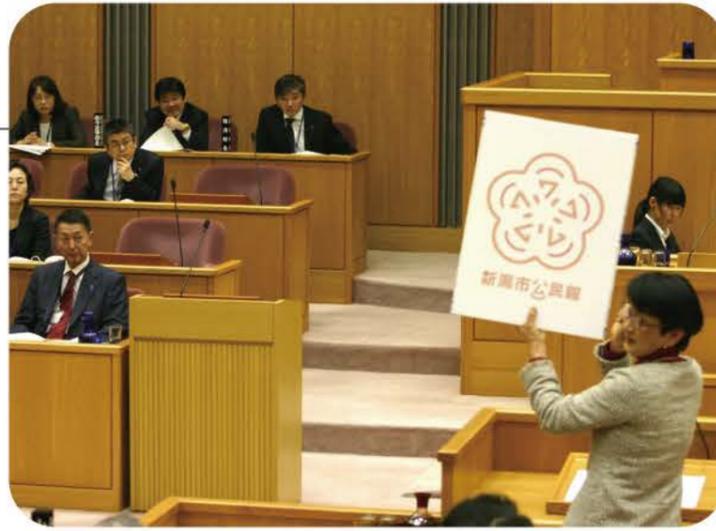
2 「ひまわりクラブ」と「放課後等デイサービス\*」および学校との連携

\*障がいのある子どもたちの通えるひまわりクラブのような存在です

ひまわりクラブは施設の狭小化と支援員不足が課題となっています。障がいのある子どもが放課後を安心して過ごすために、私は「放課後等デイサービス」の活用をより積極的に進めることを提案します。そのためにも学校との連携や情報共有が必要と考えますがいかがですか。

市長答弁

今年度は「障がい児のための放課後サービスガイドブック」を作成し、市内の小中学校や保育園・幼稚園などへ配布します。また就学時健康診断の場を活用しひまわりクラブの入会案内とともに放課後等デイサービスの情報も伝え、必要な方が円滑



新潟市公民館のシンボルマークを掲げながら、公民館等の役割について質問しています。

にサービスを利用できるよう努めていきます。また、学校でもひまわりクラブとの情報交換の場を設けるなど、情報を共有し、子どもたちを同じ視点で見守っていけるよう、学校に働きかけていきます。

3 知的障がいのある人の  
選挙権の  
保障について



公職選挙法の改正で成年被後見人の選挙権が回復し、知的障がい者の投票参加が増えています。代理投票の支援や特別支援学校、知的障がい者の施設の利用者に対してより積極的な選挙広報と主権者教育を行うべきと考えますがいかがでしょうか。

選挙管理委員会委員長答弁

選挙管理委員会では、学校において選挙に関する講座や模擬選挙を行っていますが、今後はそれぞれの施設の要請に応じ、出前講座として学校同様積極的に対応していきます。また、代理投票においては相手の意思を尊重し、信頼される対応を心掛け、ゆっくり、丁寧に説明するなどの接遇をすることを全ての投票所に周知しています。

2017年  
議会報告  
2月定例会

一般質問  
通告

1. 自殺を防ぐための取り組み
2. 生涯学習の推進における公民館等の役割

1 自殺を防ぐための取り組み

新潟市のデータでは働き盛りの年代の男性が自殺死亡の主要層となっています。また、自殺者数が減少していく中で若年層の自殺者数は横ばい状態が続き、死因の1位は自殺となっています。本市でも新聞報道によると中高生がこの2年余りで自殺と特定されないものも含めて6人が亡くなっています。その課題と取り組みを伺います。

教育長答弁

本市では「自殺総合対策行動計画」に基づいて、相談支援や人材養成などの対策に取り組んできました。男性は悩みがあっ

2 生涯学習の推進における  
公民館等の役割

本市の公民館事業は多くの表彰を受けるなど誇るべき歴史を持っています。公民館での学びは、市民活動、地域活動、学校支援、高齢者の健康作り、女性や子どもの権利擁護活動へと、社会に貢献し「学びの循環」を実現しています。ところが、公民館事業の予算がこの10年足らずの間で半分以下になっています。この予算規模では、全体の講座の質の保障が難しくなり、公民館の役割を果たすことができなくなると危惧します。どのように対応していくのでしょうか。



生涯学習センター（クロスバルにいがた）  
(新潟市中央区HPより)

市長答弁

厳しい財政状況の中、類似の講座の統廃合や講座内容、講座の組み立ての見直しを図りながら、現場では様々な工夫を重ねてきました。その結果、予算は減っているが地域のニーズや課題解決にかなうような事業を実施するように努力しています。今後も予算確保に精一杯努めながら、講座内容などの見直しを図りつつ、市民ニーズなどにかなう事業を実施するよう努力していきます。

地域活動報告

オープン 憲法カフェ at けやき  
～福島みずほさんを囲んで～



5月14日に新潟市西区の「上新栄町集会場」で参議院議員福島みずほさんを囲んで「憲法カフェ at けやき」を開きました。福島みずほさんからは国会で起こっている憲法改正の具体的な報告があり、その後、「憲法カフェ at けやき」メンバー6人から憲法への思いが語られました。お茶タイムやおしゃべりタイムをはさんで、参加者55人、3時間にわたって熱い議論・意見交換が行われました。皆さんと今後も平和と人権のまちづくりに取り組みます。



\*毎月第2土曜の夕方に喫茶けやきで「憲法カフェ at けやき」を開いて2年になります。テキストを読みながらその時々を語り合ってきました。改憲議論が進む中、私たちの暮らしと平和を70年間守り続けてきた「日本国憲法」に向き合いたい、関心のある方はどうぞいらしてください。

